

# 道徳科学習指導案

## 主題名「自由の難しさ」〔学指要領：A 善悪の判断、自律、自由と責任〕

令和7年11月7日（金） 第3校時 6年教室  
東吾妻町立東小学校 6年1組 13名 指導者 小淵 令真

### I 主題設定の理由

#### 1 価値観

自己を高め、よりよく生きていくためには、自由な考えや行動が大切である。また、自由には自分で自律的に判断し行動したことによる自己責任が伴うため、自分の自由な意思によっておおらかに生きながらも、責任感の支えによって自律的に行動することが求められる。

しかし、この時期の児童は、自由の意味を自分勝手に思いのまま振る舞い行動してもよいと捉えてしまう場合がある。また、自律的で責任のある行動をすることの意味やよさが分かりにくい児童もいる。このような時期だからこそ、自分の意思で考え判断し行動しなければならない場面について考え、自由に伴う責任についての理解を深める必要がある。

そこで、目標や目的が伴った時の自由な考えと行動のもつ意味や大切さ、それに伴う自分の責任について考えさせたい。また、意思や選択の自由が自分だけでなく、他者にも同じようであり、相手の自由を尊重し合う態度の大切さにも気付いた上で、互いの承認と納得が得られるように、自由の在り方を自律的に判断して実行する必要があることについても考えさせたい。

#### 2 児童観

本学級の児童は、これまでの道徳の授業や学級活動、学校行事を通じて、自由と自分勝手は異なることや他者に迷惑をかけてしまう行動は自由とは言えないという考えを得ている。しかし、自由に活動を行う場面においては、自分のしたいことを優先させ、他者に我慢を強いるような姿が見られる時がある。また、自律的で責任のある行動をすることの意味やよさを捉えられている児童は少ない。

これらのことから、本授業を通して、自分の自由だけでなく他者の自由も大切にするとともに、目標や目的を忘れずに自律的で責任のある行動をすることのよさを理解し、自由な意思によっておおらかに生きながらも、責任感の支えと自律的な判断の下、行動するための道徳的判断力を育てたい。

#### 3 教材観 教材名「自由行動」（出典：小学道徳生きる力6 日本文教出版）

主人公のマサキが社会科見学でのグループ行動の計画を立てる中で、それぞれが好きなように行動し、集合時間だけを決めておくという計画に対して、「本当にそれでよいのか」と思い悩み、「グループとしての楽しい活動」になるよう計画を立てる。計画通りに行動したマサキたちは自由行動を楽しみ、自らの自律的な考えで責任ある行動をするよさを実感する。

本教材は、マサキの、「一人一人が自由に行動する」というシンゴの意見に対して、悩みながらも自由行動の本来の意味を捉え直し、「グループとしての楽しい活動」になるよう計画を立てる姿を通して、自由の難しさや責任の伴う自由について考えることのできる教材である。

一人一人が自由に行動することを提案するシンゴに対して、目標や目的を忘れずに自由の意味を考え直し、自分達の役に立つ自由行動にしていくことを提案するマサキの意見のよさについて考えることで、ねらいに迫らせていきたい。

## II 本時の学習

1 **ねらい** マサキの提案する自由について考えることを通して、自由とは自分の意思でしっかり考え判断して行動することであることを理解し、自律的で責任ある行動を取るための判断力を育てる。

### 2 展開

主な学習活動 <b>主な発問 (◎中心発問 ◇補助発問)</b> 予想される児童の意識 [S]	○指導上の留意点
<p>1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。 (5分)</p> <p>S : 自由といってもなんでもしていいわけではないな。みんなのことを考えて楽しむのが自由だ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;めあて&gt; 6年生としてふさわしい自由の使い方について考えよう。</p> </div>	<p>○「自由といっても自分だけでなく相手のことも考えないといけない。」など、自由に関する今までの考えを想起できるように、校内掲示物の「すすく」を提示する。</p> <p>○実生活の具体的場面を取り上げることで、その他にも6年生としてふさわしい自由とその使い方があるのではないかという疑問をもたせるようにする。</p>
<p>2 教材の範読を聞き、内容について確認する。 (8分)</p> <p>3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。 (20分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◎「この班は、なぜ、マサキの提案する自由を選んだのだろう？」</p> </div> <p>S : ・みんなで相談して自由を使おうとしているから。 ・自分たちで考えて決めているから。 ・よりよい学びになるから。 ・苦手な勉強でも楽しく学べるから。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇「自分だったら、この班のように自由を使える？」</p> </div> <p>S : ・この班のように、目的をしっかりと考えて自由を使えると思う。 ・使えないかもしれないけど、みんなの意見も聞きながら考えたい。</p> <p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。 (2分)</p> <p>S : 6年生にとってふさわしい自由の使い方とは、自分と相手の立場を考えて使うものだ。</p>	<p>○考える場面を焦点化できるように、社会見学の話合いで、シンゴとマサキによる、二つの自由に対する考え方が出てくることを押さえてから範読を聞かせる。</p> <p>○シンゴとマサキの考えを整理させるため、それぞれの考えがどのようなものであったか、ペアで確認をさせる。</p> <p>○教材中ではマサキの自由が選ばれたことを確認し、その自由のよさについて考えていけるようにする。</p> <p>○交流をしやすくするため、椅子を円形に置き、話しやすい隊形を取らせる。</p> <p>○自分の考えを広げるため、友達から出た考えを書き足すよう促す。</p> <p>○補助発問により、中心発問で考えた自由のよさを自分事として捉えさせる。</p> <p>○めあてで示した問いを想起させ、あらためて6年生としてふさわしい自由の使い方について考える。</p>
<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えの振り返りをする。 (10分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;振り返り&gt; S : ・6年生としてふさわしい自由の使い方は、自分と相手の立場を考えて使うことだとわかった。 ・自由を使うときは、自分で目標や目的をしっかりと考えないといけないとわかった。</p> </div>	<p>○振り返りをする際、過去の自分・今日学んだこと・これからの自分の3観点を示す。</p> <p>○自由を行使できる具体的な場面を挙げることで、より自分事として捉えられるようにする。</p>
<p>◆評価の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発言や道徳ノートの記述から、自由を生かすために大切なことなどを多面的・多角的に考えられたかを評価する。</li> <li>・発言や道徳ノートの記述から、自分の生活に関わる自由の意義やあり方を見直し、よりよい自由について考えられたかを評価する。</li> </ul>	